

特集 水素



茨城守谷に水素ガス吸入サロン『水素の窓口』オープン

茨城県守谷市の「イオンタウン守谷」に11月1日、水素ガス吸入サロン『水素の窓口』がオープンした。運営するのは、学生衣料卸販売をはじめ、フィットネスクラブや整体サロンなど健康施設のFCビジネスを手掛



ける(株)ママダ(茨城県筑西市)が今年9月に設立した完全子会社「水素の窓口(株)」。新たな健康分野への事業展開として数年温めていた水素事業に参入、同サロンの運営に加え、1分間に50mLの水素生成量を持つ卓上型水素ガス吸入器『水素のチカラ』の独占販売も展開。先ごろイメージキャラクターにタレントの田中律子さんを起用した。

『水素の窓口』は約30坪。リクライニングシートに腰掛けながら水素ガス吸入を行える専用ルームが8室。その内の2室はマッサージチェアを配置(別料金)。マッサージを受けながら水素ガス吸入が行える。水素ガス吸入用として、自社ブランドの『水素のチカラ』(50mL/分)をはじめ、他社製品の80mL/分、150mL/分、

500mL/分、600mL/分、1,200mL/分まで6種類の吸入器をラインアップ。30分間600~3,000円で水素ガス吸入が体験できる。複数回利用でお得となるクーポン券なども用意している。

店内には他にも、コンパクトサイズの水素ガス吸入器や水素水サーバー、水素サプリメントや水素化粧品、水素入浴料



水素吸入ルーム 様々なメーカーの吸入器をラインアップ

——など関連商品を数多く展示。販売やレンタル、さらに月単位での定額制プランも用意している。さながら水素商材の総合デパートといった様相だ。

店長の中村貴彦氏は、「都心で水素ガス吸入を経験したことのある方が、近所にサロンができて嬉しいと、クーポン券を一度に数枚購入頂くケースも見られる」とのこと。

とはいえ、まだまだ水素自体への認知が低いことから、同サロンでは当面、初回30分無料で水素吸入を体験して貰い、リピートに繋げていく方針。7日現在、68人が体験を行ったといい、今後は「1日20人の集客を目指す」としている。